



認可保育園の不承諾数330人に 保育ママ・認証などで保育の確保を

地域別	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5才児		合計	
	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者 数	[]内 指数20 以上
南千住	122	[87]	162	[143]	50	[23]	51	[22]	6	[3]	4	[2]	395	[280]
	11	[4]	31	[17]	8	[0]	7	[0]	1	[0]	0	[0]	58	[21]
	106	[78]	128	[123]	42	[23]	43	[21]	5	[3]	4	[2]	328	[250]
荒川	68	[55]	85	[62]	27	[17]	26	[13]	1	[0]	1	[1]	208	[148]
	8	[1]	17	[6]	7	[2]	1	[0]	1	[0]	0	[0]	34	[9]
	60	[54]	65	[54]	19	[14]	25	[13]	0	[0]	1	[1]	170	[136]
町屋	55	[34]	78	[59]	38	[22]	12	[7]	1	[1]	0	[0]	184	[123]
	10	[3]	16	[3]	13	[4]	0	[0]	0	[0]	0	[0]	39	[10]
	45	[31]	62	[56]	25	[18]	12	[7]	1	[1]	0	[0]	145	[113]
東尾久	51	[36]	78	[61]	34	[23]	15	[6]	0	[0]	4	[3]	182	[129]
	11	[3]	18	[9]	9	[4]	3	[0]	0	[0]	1	[1]	42	[17]
	39	[32]	60	[52]	24	[19]	12	[6]	0	[0]	2	[2]	137	[111]
西尾久	41	[36]	73	[52]	30	[15]	10	[4]	2	[1]	2	[2]	158	[110]
	5	[4]	20	[6]	14	[5]	2	[0]	1	[1]	0	[0]	42	[16]
	36	[32]	53	[46]	16	[10]	8	[4]	1	[0]	2	[2]	116	[94]
東日暮里	69	[56]	84	[61]	25	[10]	27	[14]	1	[1]	0	[0]	206	[142]
	13	[4]	27	[8]	10	[2]	5	[0]	0	[0]	0	[0]	55	[14]
	55	[51]	56	[8]	15	[8]	20	[13]	1	[1]	0	[0]	147	[126]
西日暮里	53	[38]	73	[60]	22	[13]	26	[16]	2	[2]	0	[0]	176	[129]
	11	[2]	16	[6]	3	[0]	2	[0]	1	[1]	0	[0]	33	[9]
	42	[36]	56	[53]	19	[13]	23	[15]	1	[1]	0	[0]	141	[118]
合計	459	[342]	633	[498]	226	[123]	167	[82]	13	[8]	11	[8]	1,509	[1,061]
	69	[21]	145	[55]	64	[17]	20	[0]	4	[2]	1	[1]	303	[96]
	383	[314]	480	[437]	160	[105]	143	[79]	9	[6]	9	[7]	1,184	[948]

今年4月の認可保育園入所の内定通知が2月20日に発送されました。申し込み者数は、1,509名(前年80名減)のうち、入園内定1,184名と昨年より75名増加しました。一方不承諾(落選)通知が303名(前年比134名減少)と依然としてきびしい状況です(左表参照)。

当初の予想通り、日暮里地域とともに東尾久地域がきびしい状況になっています。町屋地域については、こうした地域ほどではありませんが、不承諾者39人でありまして、2歳で他地域同様のきびしさに変わりありません。

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

686

2018年3月4日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

昨年と今年の比較

	時期	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
申込者数	2018年4月	459	633	226	167	13	11	1,509
	2017年4月	465	672	231	200	13	8	1,589
	増減	6	39	5	33	0	3	80
内定者数	2018年4月	383	480	160	143	9	9	1,184
	2017年4月	359	452	137	150	9	2	1,109
	増減	24	28	23	7	0	7	75
不承諾者数	2018年4月	69	145	64	20	4	1	303
	2017年4月	92	204	87	46	3	5	437
	増減	23	59	23	26	1	4	134
指数20以上 不承諾者数	2018年4月	21	55	17	0	2	1	96
	2017年4月	26	56	9	3	1	2	97
	増減	5	1	8	3	1	1	1

全区的にも1才児を中心に0~2才児は、きびしい状況です。今後、不承諾の子どもたちが、二次募集園への追加申込みなどで入園が決まってくる。

今後、認証保育園、保育ママなどの受け皿で最低限、保育を受けることができるように対応が求められます。区



大門湯と店主の臨時休業の張り紙



8カ月間休業中の銭湯が…何とか再開してほしい町屋と東尾久6丁目で銭湯はどうなる…

東尾久6丁目にある大門湯。この地域唯一の銭湯ですが、昨年6月末以来休業したままで早8カ月です。町屋4丁目や2丁目と同じ生活圏です。尾久の原防通りができるまでは、細い道を挟んだ木造密集地域で一つのコミュニティを形成していました。そのコミュニティの一角を担っていたのが、銭湯です。ところが現在は、町屋地域では、1丁目、3丁目、4丁目に各一カ所の銭湯があるだけです。他の丁目では、すべてなくなりました。この先どうなるのでしょうか。実は銭湯には、防災上も大事です。生活用水や消防用の水を提供できる銭湯は、区と防災協定を結んでいます。何とか銭湯を存続させる一助にと、共産党区議団は「ふるわり200」の利用料や回数の拡充を求める提案をしています。いま政治の決断も求められています。(横山幸次)

裏面 続・地震危険地域を考える...など

定例法律相談会
3月5日(月)
4月2日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



全都危険度で町屋4丁目が「ワースト1」… 7年前のデータで「分析」？区独自の調査分析を

地震に関する地域危険度測定調査（第8回）（2018年2月公表） 町屋地域の危険度

町丁目	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動			困難度			総合危険度		
	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク
町屋1丁目	11.56	135	4	7.25	141	4	0.12	2088	2	2.33	174	4			
町屋2丁目	14.83	46	5	9.29	97	4	0.23	482	3	5.61	31	5			
町屋3丁目	14.04	57	5	11.22	62	5	0.16	1432	2	3.94	67	5			
町屋4丁目	19.74	8	5	35.76	6	5	0.32	124	4	17.76	1	5			
町屋5丁目	9.52	240	4	7.85	123	4	0.14	1752	2	2.41	165	4			
町屋6丁目	9.31	257	4	1.68	652	3	0.06	3618	1	0.61	935	3			
町屋7丁目	8.15	364	4	0.93	1026	3	0.02	4514	1	0.15	2842	1			
町屋8丁目	7.92	388	3	0.58	1414	2	0.05	3726	1	0.44	1317	2			

荒川区のワースト順位

町丁目	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動			困難度			総合危険度		
	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク	危険量	順位	ランク
町屋4丁目	19.74	8	5	35.76	6	5	0.32	124	4	17.76	1	5			
荒川6丁目	16.41	24	5	36.54	5	5	0.24	455	3	12.52	3	5			
荒川3丁目	13.35	68	5	17.97	30	5	0.21	663	3	6.64	19	5			
南千住1丁目	20.55	6	5	19.47	25	5	0.15	1479	2	6.13	23	5			
西尾久6丁目	10.34	197	4	12.03	56	5	0.27	270	4	6.04	25	5			
町屋2丁目	14.83	46	5	9.29	97	4	0.23	482	3	5.61	31	5			
西尾久5丁目	14.85	45	5	13.56	48	5	0.19	911	3	5.45	33	5			
東尾久6丁目	15.35	32	5	9.53	89	4	0.2	811	3	4.96	39	5			
東尾久2丁目	11.27	147	4	15.66	34	5	0.18	1012	3	4.95	40	5			

東京都が発表した、地震の総合危険度（建物倒壊危険度と火災危険度を加味・国の2011年の土地家屋調査で分析）が波紋を広げています。5年前に続き今回も5、177丁目のうちで、町屋4丁目がワースト1位だったことです。若干の順位の上下はありますが、荒川6丁目3位、荒川3丁目19位、南千住1丁目23位、町屋2丁目31位などとなっています。町屋地域では、町屋6丁目が1ランク改善し総合危険度3へ、7丁目を1と診断。しかし町屋2、3丁目は、引き続き全都100位以内に入っています。

区独自の「危険度調査」を
第一は、木造密集地域、特に町屋4丁目をはじめ不燃化特区の地域について、区として建物・道路の現況など調査（現地での目視含め）し、独自の危険度マップなど作成すべきです。こうした作業を通じて、公共住宅の必要性、木造住宅の耐震補強を支援の拡充し、防火、延焼対策の強化や道路、公園、空き地の整備などの課題が見えてくるはず。

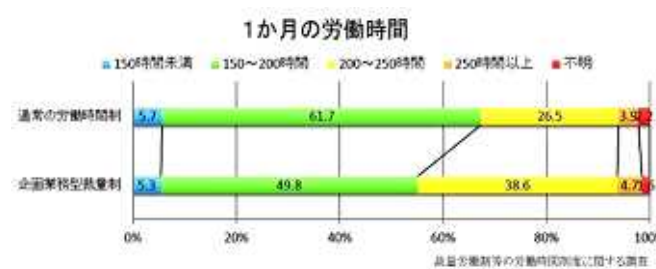
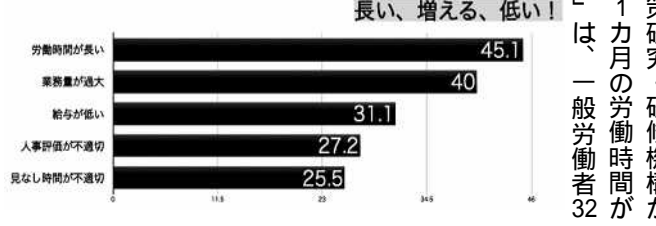
火災防止など
思い切った対策を
第二は、一人の犠牲者も出さないため、地震の最初の衝撃で「倒れない」「燃えない」状況をつくるための支援です。例えば、最低限建物が倒れない、火災を防止できる簡易な耐震化や簡易な不燃化へも積極的

に支援するなど柔軟な施策が必要。また、火災防止のため、現在の65歳以上ひとり暮らし世帯などへのIH調理器やセンサー付きコンロなどの購入補助を危険度の高い地域など一気に普及するため助成額増額・対象拡大を求めました。また家具転倒防止の設置助成も65歳以上のみの世帯・非課税世帯・障害者世帯は上限2万円を思い切って引き上げも急がれます。

区民の命と財産を守るためにできることはすべてやる、そのための財政投入を惜しむことがあつてはなりません。

今週のデータ 裁量労働制のデータ隠蔽・改ざん…「法案」の提出は断念すべきです

厚生省の要請で労働政策研究・研修機構が実施した調査結果です。1カ月の労働時間が「200時間以上の割合」は、一般労働者32・6%、企画業務型裁量労働制44・9%。裁量労働の方が長時間になる明確なデータがあるのです。裁量制拡大ありきの許されない隠蔽いす。労働政策研究・研修機構の調査結果をも一つ。裁量労働制への「不満」がはつきり出ています。制度の根幹に関わる不満な点（複数回答のトップ5）



マンションの「民泊」禁止の規約改訂について

荒川区のマンションセミナーが開かれました。当日のレジュメなどについては、区の防災まちづくり推進課（3802 311内線2838）に用意があります。

国土交通省が示した民泊事業の標準規定では、住宅宿泊事業（民泊）法に基づく民泊事業の禁止規定となっています。しかし、すべてのマンション居室での宿泊事業禁止規定にすることし、「2 区分所有者は、その専有部分を宿泊料を受けて人を宿泊させる事業の用途に供してはならない。」（マンション標準管理規約12条の2項）とする提案がされています。マンションでの対応では、この点をしっかりと確認することが大事です。

住宅宿泊事業を禁止する場合

第12条 区分所有者は、その専有部分を専ら住宅として使用するものとし、他の用途に供してはならない。

2 区分所有者は、その専有部分を住宅宿泊事業法第3条第1項の届出を行って営む同法第2条第3項の住宅宿泊事業に使用してはならない。